

【プレスリリース】  
報道関係各位

株式会社 MJI  
2021年4月21日

## MJI が内閣府運営「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に参画

AI 及びコミュニケーションロボットの開発・製造・販売を行う株式会社 MJI（本社：東京都港区、代表取締役社長：トニー・シュウ、以下 MJI）は、「SDGs（持続可能な開発のための目標）」の取り組みを推進するため、内閣府が設置した「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に参画したことをお知らせいたします。



「人と人、人と社会をつなぐ」をテーマにコミュニケーションロボット「Tapia(タピア、以下 タピア)」を開発する MJI は、ロボット ICT により、人と人・人と社会が繋がることによって地域間格差や情報格差が解消され、何処で暮らしていても各々が住み良い生活を送れるような社会づくりを、地方自治体及び協業パートナー企業様と一緒に目指して参ります。

### 【地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームについて】



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

内閣府が、SDGs への取組を促進し、より一層の地方創生につなげることを目的に、官民間わず広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める場として設置したプラットフォームです。

地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム：<https://future-city.go.jp/platform/>

プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社 MJI メール：info@mjirobotics.co.jp

## 【MJI の取り組み】

### ＜過疎対策・定住促進＞

自治体からの情報を住民（「タピア」利用者）に発信する事によって、地域と住民がよりつながりやすく、住民がより安心して暮らせる地域を目指します。

### ＜高齢者福祉・介護＞

独居の高齢者がロボット「タピア」のビデオ通話を利用することによって、ロボット対高齢者の会話促進だけでなく、簡単に離れて暮らす家族や友人とコミュニケーションをとる事が可能になります。連携したアプリからロボットのカメラを通した室内の見守りほか、利用者の使用頻度・健康チェック結果等をアプリ上で表示する見守りの見える化により、利用者のプライバシーにも配慮した、充実したみまもりを実現します。

### ＜地域活性化＞

「タピア」に搭載予定であるショッピング機能により、買い物が困難となっている高齢者や過疎地の人々と、地元商店等をタピアがつなぎ、簡単かつ地域密着型インターネットショッピングを可能にします。また、地元商店や地域生産者が住民（「タピア」利用者）に日々情報を発信する事で、販売者は商売の拡大、サービスの向上を図る事ができ、地元商店と地域住民とのつながりが可能になります。

## 【株式会社 MJI について】

### MORE JOYFUL INNOVATION

#### 毎日をもっと楽しく、もっと豊かに。

MJI は、人工知能を備えたコミュニケーションロボットを開発する会社です。

これから必要とされるのは、どんなロボットだろう？ 2015 年の設立以来、そんな課題と向き合って出した答えは、「人と人をつなぎ、心のパートナー」でした。目指すのは、みまもりや買い物などのサポート役だけじゃない、何気ない会話からとも成長してゆく、ひとりひとりに寄り添う存在。

MORE JOYFUL INNOVATION !

ときにさまざまな企業と手を取り合いながら、この合い言葉を胸に、MJI は今日も歩んでいます。

ロボットが人々の毎日をより楽しくする、その可能性を信じて。

#### 会社概要

会社名：株式会社 MJI

所在地：東京都港区白金 3-7-18 アポロホール&ルナハウス 401

代表者：代表取締役社長 トニー・シュウ、代表取締役 永守知博

設立：2015 年 7 月 21 日

事業内容：AI 技術の開発・販売、ロボットの企画・開発・販売

URL：<https://mjirobotics.co.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/MJI.Inc>

\* 本リリースに記載されている製品名、会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

\* 本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

#### プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社 MJI メール：[info@mjirobotics.co.jp](mailto:info@mjirobotics.co.jp)